

High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い -- Windows NT環境におけるオートアップデート 機能の使用について --

統合開発環境High-performance Embedded Workshopの使用上の注意事項を連絡します。

- Windows NT環境においてオートアップデート機能を使用する場合の注意事項

1. 該当製品

以下の製品に含まれるHigh-performance Embedded Workshop V.4.00.00(オートアップデート機能付き)が該当します。

- (1) M32C/90, M32C/80, M16C/80, およびM16C/70シリーズ用
Cコンパイラパッケージ M3T-NC308WA V.5.20 Release 02
- (2) M16C/60, M16C/30, M16C/20, M16C/10, M16C/Tiny, およ
びR8C/Tinyシリーズ用
Cコンパイラパッケージ M3T-NC30WA V.5.30 Release 02
- (3) SuperH RISC engineファミリ用
C/C++コンパイラパッケージ V.9.00 Release 02
- (4) H8SX, H8SおよびH8ファミリ用
C/C++コンパイラパッケージ V.6.01 Release 00

オートアップデート機能については2005年3月1日付け RENESAS TOOL NEWS "統合開発環境 High-performance Embedded Workshopでのオートアップデート機能サポートのお知らせ"をご参照ください。

2. 内容

ホストOSがWindows NTであるPCでは、High-performance Embedded Workshop V.4.00.00に付属しているオートアップデート機能を使用できません。

オートアップデートが起動する際、アプリケーションエラーが発生したというメッセージが出力されるので、メッセージボックス上のOKボタンをクリックしてオートアップデートを終了させてください。

3. 恒久対策

本内容は4月上旬にリリースされた統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4.00.01 に付属しているオートアップデートでは改修されています。

High-performance Embedded Workshop V.4.00.01へのアップデートプログラムはこちらからダウンロード可能です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。